

# うちの近所 コレイチ

わが町 自慢紹介 24



## 「天満の天神さん」 大阪人の心の拠りどころ

### 菅原道真を祀って一千年 天満地域を守る氏神

大阪自治労連の本部がある大阪グリーン会館から徒歩1分の大阪天満宮。創建は、949(天曆3)年です。社伝によると、901(昌泰4)年当時、右大臣を務めた菅原道真(845年~903年)は朝廷の権力争いに敗れ、大宰府へ左遷される途中に現在の天満宮の境内にある大將軍社に立ち寄って参拝しました。

道真の死後、そこに光り輝く松が生えたという話を村上天皇が聞いた



1843(天保14)年に再建された本殿

ため、大將軍へ道真を祀ったのが始まりとされています。その後は、天満地域を守る氏神として、「天満の天神さん」と親しまれ、学問・芸能の神様として地域の人々や大阪商人の心の拠りどころとなり、現在に至っています。

### 大阪の夏を彩る「天神祭」

毎年、7月24・25日には10000年余り前から続く「天神祭」が催されます。古式ゆかしい衣装をまとった3000人が街を練り歩く陸渡御、夕闇の中100隻を超える船団が川面を行き交う船渡御に、3000発以上の火花が打ち上げられたりと活気にあふれ、日本三大祭の一つとして知られています。



境内北側の「星合池」(通称亀の池)周辺には梅林など合計約100本の梅の木があり、開花時期には「てんま天神梅まつり」が開催されます。この時期に3日間限定で夜間拝観も実施されます

## Culture Navi かるちがーナび

### 組合はみんなのために活動している

「おかしいことはおかしい」と言える職場を

結局、アンケートは廃棄されましたが、職場は物が言えない雰囲気になってしまいました。保育現場では子どもや保護者に背を向ける施策がどんどんすすめられ、「このままではあかん、おかしいことはおかしいと言わなあかん」と、裁判の原告になることを決意しました。いま、いろいろなどころで、励ましの声をいただいています。一人ではないんだと元気をもらい明日への力になっています。これからも、ご支援よろしくをお願いします。

橋下市長が当選し、組合を敵視する言動が始まり、危機感を募らせていた矢先に、この「アンケート」が実施されました。アンケートは組合に関係していた者はすべて悪者であるかのような質問で、まるで犯人さがしをするような感じでした。

「組合はみんなのために活動している。何も悪いことはしていない。答える必要はない」と思いましたが、市長直筆の「処分もありうる」という、脅しともとれる業務命令には、提出しなければ何かあるのでは、と悩みました。



「スタンダップ」はシンガーソングライターのかわさきゆたかさんが作曲した「思想調査アンケート裁判」の応援歌です。

「思想調査アンケート」裁判  
原告59人の決意  
**スタンダップ**  
No.13 笠井みゆきさん

## 心に響くひとこと

世の中には3つの嘘がある  
ひとつは嘘、次に大嘘  
そして統計である  
ベンジャミン・ディズレーリ

「統計の嘘にだまされるな」ー現在の安倍政権や橋下・維新政治への警告にもなりますね。ディズレーリ(1804年~1881年)は、19世紀イギリス、ヴィクトリア朝期の政治家。保守党(トーリー党)に所属し、2度にわたって首相を務めました。内政面では都市の衛生化、労働組合の強化など「トーリー・デモクラシー」と呼ばれる改革を行いました。外交面ではスエズ運河買収によるエジプトの半植民地化などの帝国主義政策を遂行しました。

## 1616年スプリングが

### 大リーグ全球団の 永久欠番になった男の物語

毎年4月15日、大リーグではこの日はすべての選手が背番号42を着けてプレイすることになっています。「ロビンソンデー」と言います。そう、あのイチロー選手もこの日は背番号42でした。それは、1940年代後半から1950年代にかけて大リーグで活躍した一人の黒人選手を顕彰してのことなのです。その選手の名はジャッキー・ロビンソン。黒人差別の強かった大リーグで、幾多の差別と闘いながら、史上初の黒人メジャーリーガーとなったジャッキー・ロビンソンの半生をこの映画は描いています。

第二次世界大戦の終結間もない1947年、ドジャース球団のゼネラルマネージャーのプランチ・リッキーは周囲の反対を押し切り、実力のある野球選手として評判高いロビンソンとメジャー契約を結びます。2人からはファンやマスコミ、チームメイトからも差別と誹謗中傷を浴びせられますが、自製心を貫き通し、野球というプレイで周囲を納得させるために全精力を注ぎます。そしてロビンソンのそばにはよき理解者でアドバイザーでもあった愛妻がいました。プレイに徹するロビンソンの姿勢に、次第に周囲の人々の心もひとつになっていきます。野球における人種差別を克服し、その後の黒人選手の大リーグへの道をつくりました。上映時間は128分。



## 42 世界を変えた男

ぼくもすごい「ヤジリスト」になろうと思った  
天野 祐吉 (コラムニスト)

去る10月20日に死去した天野祐吉は広告批評家の先駆けでした。その原点は若き日に訪れた浅草のストリップ劇場での、観客が放った一つの当意即妙の野次だったといえます。難解な言葉を用いずとも、豊かな表現ができる庶民の力にたいへん感銘を受けたそうです。また広告を通して見える世相や社会をも鋭く切り、自身の批評を「時代への野次」と表現しました。